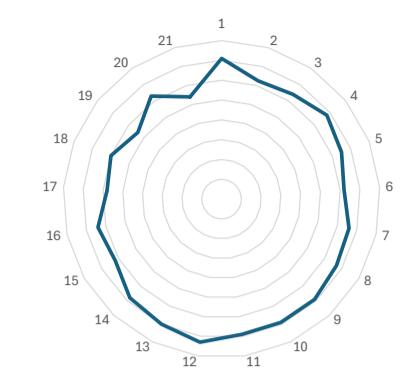


I 保育の計画性		8	13	0	0	71.0
1	園の教育理念や教育方針を理解し共感している	3	16	1	1	62.5
2	園の方針、園の考え方について園長や主任と話し合い保護者に説明できる	4	14	3	0	64.0
3	幼保連携型認定こども園教育・保育要領を理解し、幼児の姿や環境の構成、保育者とのかかわりなど具体的な事例を思い浮かべることができ	6	14	1	0	68.0
4	園の教育課程は、幼保連携型認定こども園教育・保育要領をふまえ園の教育理念・教育方針に従い編成している	6	11	4	0	65.0
5	1年間の子どもの成長を振り返り、教育課程を評価している	6	10	4	0	62.0
6	園の教育課程は、社会状況や幼児の実態、地域性などを考慮しながら必要に応じて見直しを行っている	6	14	0	0	66.0
7	指導計画は、幼児の生活上の意義を十分検討した上で指導計画に組み入れている	7	13	1	0	69.0
8	行事は幼児の生活上の意義を十分検討した上で指導計画に組み入れている	6	15	0	0	69.0
9	指導計画に基づいて、幼児が主体的に関わりたくなるような安全で清潔感のある環境構成をしている	7	13	1	0	69.0
10	楽しい雰囲気の中で、安心して遊び込めるように遊具や用具、素材など質・数量を配慮して環境を構成している	7	13	1	0	69.0
11	幼児の活動がより豊かになるように幼児の発想を柔軟に取り入れ、活動の展開に応じて環境の再編成をしている	11	9	1	0	73.0
12	幼児の発達や生活を見通し、季節の変化に応じた環境構成をしている	8	12	1	0	70.0
13	異年齢の乳幼児が自然に交流できるような環境構成をしている	6	14	1	0	68.0
14	自分の保育と評価・反省について、次の保育と計画に生かせるように行っている	5	10	6	0	62.0
15	お互いに保育を見せ合い、検討し、評価・反省を加え、幼児の生活と自らの保育につなげている	4	16	0	0	64.0
16	次週の子どもの姿の見通しを持つことができる。	4	14	1	0	60.0
17	お店ごっこから本物のおやつ作りへなど。	3	14	2	0	58.0
18	行事前の会議、園児降園後の話し合いを多く持った。	4	12	1	0	60.0
【自由回答】保育の計画でよく出来ていると思ったこと						
19	保育課程を良く踏まえてやっていくことが不足であった。	2	14	2	0	54.0
20	排泄指導	4	15	1	0	63.0
21	担当分野の理解不足	2	12	5	0	54.0
【自由回答】保育の計画でこれから課題と思ったこと						

## I 保育の計画性



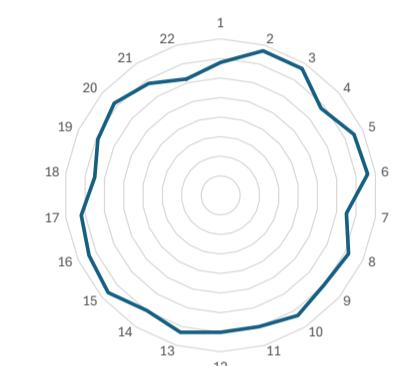
保育の計画性について、自分の保育を評価・反省して次に生かせるように心がけている様子がうかがえる。「よくできている」とは答えなくてもそこに自身の課題を把握している表れかと理解できる。

ただし設問15にある「お互いに保育を見せ合い…」といった評価をして話し合う機会、設問21の担当分野の理解不足の回答から、職員間での話し合い連携を図る必要があると思われる。

## II 保育の在り方 3才未満児への対応

1	朝の登園時は家庭からの連絡をもとに視診・触診をして、乳幼児の健康状態を確かめている	11	8	0	0	68.0
2	体調が悪そなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	14	7	0	0	77.0
3	保護者から健康状態などの申し出を受けるなど、乳幼児の健康情報を共有し、アレルギー、熱性痙攣、脱臼癖などの既往症について把握	14	7	0	0	77.0
4	体重・身長などの測定を定期的に行い家庭に知らせると共にバランスの取れた発育が促されるよう配慮している	8	12	0	0	68.0
5	家庭と連絡を取りながら一人ひとりに合わせて離乳食の移行を行い、様々な食品に触れ、食への意欲を育てている	12	9	0	0	75.0
6	睡眠が充分にとれる静かな環境を整え、午睡の状態(呼吸・顔色・嘔吐・汗)およびSIDS(乳幼児突然死症候群)のチェックをしている	13	8	0	0	76.0
7	一人ひとりの排泄間隔を把握し、その子の排泄のリズムに合わせて、オムツを交換したり、トイレに促している	4	15	2	0	65.0
8	乳幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮	9	12	0	0	72.0
9	一人ひとりの乳幼児の発達課題について見通しをもって保育している	7	14	0	0	70.0
10	落ち着いた雰囲気の中で抱いたり語りかけたりして、乳幼児が人の関わりの楽しさや心地よさを味わえるようにしている	10	11	0	0	73.0
11	泣いたりぐずったりのサインを見逃さず、要求に応じた適切な対応をしている	8	12	1	0	70.0
12	乳幼児の心身の発達および生活の連続性に配慮し、好奇心や発達を促す環境を整えて保育している	8	12	1	0	70.0
13	自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみ取り、安心感と自己肯定感がもてるように言葉かけをしている	10	11	0	0	73.0
14	禁止語を必要に用いないようにしている	7	14	0	0	70.0
15	乳幼児期は身体的条件や生育環境などの違いにより、一人ひとり心身の発達に個人差が大きいことを理解し関わっている	13	8	0	0	76.0
16	保育者全員が情報を共有し、クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている	12	8	1	0	74.0
17	指導上配慮を必要とする乳幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	9	12	0	0	72.0
18	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態に配慮している	4	15	2	0	65.0
19	園と家庭とのコミュニケーションを取っている。	7	13	1	0	69.0
20	その子に合った言葉かけ、体調管理をしている。	12	8	0	0	72.0
21	一人ひとりの欲求、要求になるべく答えるようにしている。	8	12	0	0	68.0
【自由回答】保育の在り方、3歳未満児への対応でよく出来ていると思ったこと						
22	禁止語「ダメよ」を必要に言わない。	3	14	4	0	62.0
【自由回答】保育の在り方、3歳未満児への対応でこれから課題と思ったこと						

## II 保育の在り方 3歳児未満への対応



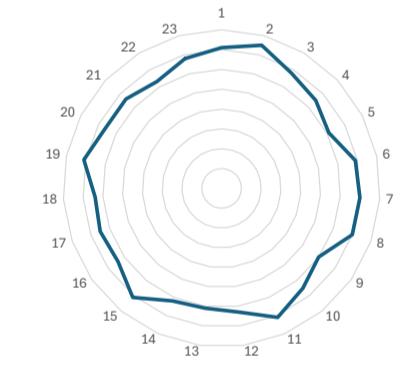
【自由回答】保育の在り方、3歳未満児への対応でこれから課題と思ったこと  
危ない時やいけないことなどはダメよと止めてしまうことがある。~しようと禁止しないように気を付けてはいるが、とっさに出てしまうこともある。

これらの設問について心がけていることがうかがえる。「よくできている」とは答えなくてもそこに自身の課題を把握している表れかと理解できる。  
設問23「禁止語ダメよ」について、必要に言わないように心がけながら必要な場合との判断に悩んでいる様子がうかがえる。

## III 保育の在り方 3才以上児への対応

1	朝の登園時は特に視診を大切にして幼児の体調が悪くないかを確かめている	11	9	0	0	71.0
2	体調が悪そなときは静かに寝かせたり検温をするなど適切な処置を行い、すぐに家庭へ連絡している	15	5	0	0	75.0
3	幼児の話をよく聞いたり、言葉にならない思いやサイン、その姿の中にある心の動きを推察し、基本的欲求が十分満たされるよう配慮している	8	12	0	0	68.0
4	一人の幼児をじっくりと見ながら見られない所で活動したり遊んでいる幼児についても、ある程度その活動の様子を推察することができる	6	13	1	0	65.0
5	個々の幼児の発達の姿や課題について見通しをもって理解できる	4	15	0	0	61.0
6	幼児一人ひとりを観察し、ありのままの姿を受け入れるようにしている	10	9	1	0	69.0
7	幼児との温かなやりとりやスキンシップを常に心がけている	11	8	1	0	70.0
8	幼児の話をよく聞くようにしている	10	10	0	0	70.0
9	「一人ひとり」と「みんな」の関係を常に考え、クラス集団をまとめている	3	14	3	0	60.0
10	幼児が遊びや活動を深めていくためのヒントやアイディアを提供している	8	9	3	0	65.0
11	幼児をほめたり、励ましたり、目で見てもらせるような言葉かけをしている	11	9	0	0	71.0
12	禁止・命令、行動を急がせたり、自信を失わせる言葉や態度はできるだけ控えている	5	13	2	0	63.0
13	幼児の家庭環境やこれまでの育成歴などを顧慮してかかわっている	3	15	2	0	61.0
14	障がい児が入園した時、個別の対応やクラスの子どもと共に育ち込める保育を積極的に進めている	6	10	4	0	62.0
15	クラスに関係なく、その場にいた保育者が適切な言葉かけや対応をしている。また情報を共有している。	11	9	0	0	71.0
16	指導上配慮を必要とする幼児については、園の保育者全体で特によく話し合い、共通理解をもって、工夫し対応するようにしている	6	12	2	0	64.0
17	他クラスや異年齢の幼児たちと触れ合うようさまざまな工夫や保育形態を取り入れている	7	11	2	0	65.0
18	その日にあった出来事や指導上配慮を必要とする幼児について園全体で共通理解できて対応することができた。	4	16	0	0	64.0
19	他のクラスが来てもみんな仲間に入れて遊びこぐことができた。	14	5	0	0	71.0
20	子ども達にスキシップを大切にし、言いたいことを「代弁」したり、「やってみたい」を常に大切にし、優先させることができた。	9	10	0	0	66.0
【自由回答】保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと						
21	担当見ばかりでなく、関わる幼児達の関係も広く見ていくように努める。	9	10	0	0	66.0
22	こども園の考え方を常に具体的に意識し、子どもや保護者に伝えていく。	8	9	2	0	63.0
23	職員同士の信頼関係を密接にしていく。	9	10	1	0	68.0
【自由回答】保育の在り方、幼児への対応でこれから課題と思ったこと						

## III 保育の在り方 3歳児以上児への対応



【自由回答】保育の在り方、幼児への対応でよく出来ていると思ったこと  
合同保育で関わることもあり、異年齢でも仲良く遊ぶ姿がある。他のクラスの行き来も喜んでしている。

これらの設問について心がけていることがうかがえる。「よくできている」とは答えなくてもそこに自身の課題を把握している表れかと理解できる。  
設問14「障がい児が入園した時…」のクラス全体の運営方法に戸惑いなどの消極的意識がうかがえる。研修のみならず、職員間の連携協調性を強める取り組みが必要かと思われる。

## IV 保育者としての資質や能力・良識・適性

## V 保護者への対応・守秘義務

1 一人ひとりの子どもについて、家庭での養育方針などを把握している	3	15	3	0	63.0
2 ドキュメンテーションなどで、保育実践の内容や意図・クラスや子どもの様子を写真やイラストなどを活用して分かり易く伝える工夫を個々の子どもの様子は、直接保護者と話をしたり、連絡帳、電話などを使って伝え合っている	9	12	0	0	72.0
4 保育参観や保護者面談を定期的に行い、子どもについて保育や家庭でのあり方にについて共通理解を得るようにしている	6	14	0	0	66.0
5 定期的にアンケート等で保護者の要望を聞き、子どもにとってより良い環境づくりに努めている	3	15	2	0	61.0
6 保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している	3	11	4	2	54.0
7 子育てや就労を支えるために、保護者の気持ちに配慮しながら接するように努めている	7	11	2	0	65.0
8 保護者らの様々な訴え、要望 意見については安易に受けたり、断ったり、無視したりしないで、園長や主任等に報告や相談をしている	9	12	0	0	72.0
9 必要な場合は自園の苦情解決システムについて保護者に説明できる	5	9	7	0	61.0
10 教職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていない	20	1	0	0	83.0
11 密密情報(保護者・園児等に関する個人情報および園の運営上の情報、保育技術・保育計画等の情報)については園長の許可なく使用、開示しないでいる	19	2	0	0	82.0
12 密密情報の記録が破損、改造されないように管理している	15	6	0	0	78.0
13 密密情報の帰属は園または法人にある事を認識し、書類、電子データは持ち帰らないようにし、どうしても必要な場合は園長の許可を得てから持ち帰る	19	2	0	0	82.0
14 密密情報の書類、電子データのコピーは園長の承認を得たのみ、必要最小限にし、必要が無くなった場合は適切に処分している	17	4	0	0	80.0
15 密密情報について新たに知り得たことについては、直ちに園長に報告している	17	3	0	0	77.0
16 正しい日本語、丁寧な言葉と敬語を用いて語りかけ、相手の話も落ち込まないでしっかりと聞いている	7	14	0	0	70.0
17 親しくなったからといって、友達同士のような話し方をしていない	11	10	0	0	74.0
18 電話では簡潔に要領よく対話をすることを心がけている	10	11	0	0	73.0
19 保護者からの依頼や伝言等については、メモを取るなどきちんと対応している	8	13	0	0	71.0
20 長期の欠席や入院等の場合には、見舞ったり、園やクラスの様子を伝えたりしている	4	9	5	3	54.5
21 保護者の国籍、思想、宗教により、また子どもの性差、障害、個性差によって区別、差別をしていない	15	6	0	0	78.0
22 保護者からのクレームがあった場合は、まず謙虚にその話を聞き、園長に連絡、報告、相談している	14	7	0	0	77.0
23 元気にあいさつが言えたこと。	15	5	0	0	75.0
24 延長保育で担当児の親との会話ができ、不安に思っていることなど上司や園長に伝達できた。	6	11	3	0	63.0
25 ノートだけでなく、電話や直接話をするようにした。	3	12	3	0	54.0
26 毎日の子どもの体調チェック。	12	9	0	0	75.0

【自由回答】保護者への対応でよく出来ていると思ったこと

27 1日の子ども達の様子の連絡をこまめに行う。	7	10	3	0	64.0
28 ノートだけでなく、クラス便り、写真でもっと園の様子を伝えていく。	4	12	2	0	56.0
29 保育参観の回数を増やす。	0	7	12	0	45.0

【自由回答】保護者への対応でこれから課題と思ったこと

## VI 地域の自然や社会とのかかわり

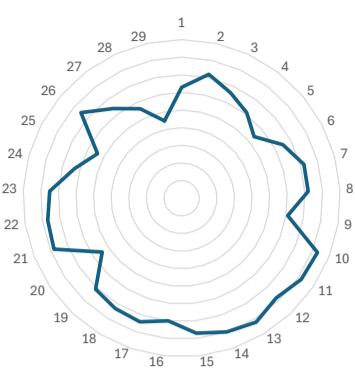
1 地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	17	4	0	0	80.0
2 地域の自然や他の機関を指導計画の中で位置づけて活用している	3	17	1	0	65.0
3 子どもの医療や保健に関する問題および地域住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	4	10	7	0	60.0
4 実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	2	16	1	0	58.0
5 中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	1	16	2	1	56.5
6 園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	12	9	0	0	75.0
7 小学校の教育内容について理解するよう努めている	6	10	4	0	62.0
8 小学生が遊びに来ることのできる場(行事等を含む)を設けている	0	5	10	5	37.5
9 卒園した子ども達の情報を得るようにしている	2	6	11	1	48.5
10 小学校が園での子どもの育ちについて、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	1	12	7	0	54.0
11 雪遊びや畑で収穫した野菜での調理体験など、地域の気候を生かした保育を実践している	16	5	0	0	79.0
12 園周辺の自然環境や公園などを積極的に利用している	13	8	0	0	76.0
13 あいさつ	14	7	0	0	77.0
14 未就園児との交流	4	14	2	0	62.0

【自由回答】地域の自然や社会とのかかわりでよく出来ていると思ったこと

15 支援センターに来れない人への支援が十分ではない	2	12	6	0	56.0
16 診療所等の専門機関の連絡先(保健師、栄養士との連携)	1	15	4	0	57.0

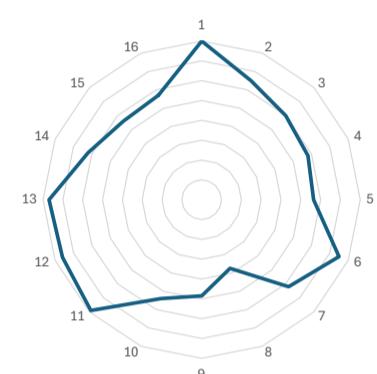
【自由回答】地域の自然や社会とのかかわりでこれから課題と思ったこと

## V 保護者への対応・守秘義務



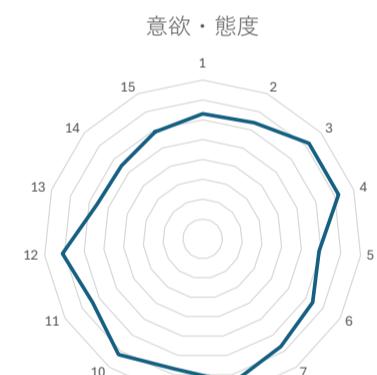
個人情報等の守秘義務について気をつけていることがうかがえる。また保護者に不信感を与えないような態度や言動に注意を払っていることも分かる。設問9、苦情解決システムについての職員の理解を徹底する必要がある。一方で設問20の長期欠席園児に対する対応について、毎日の画像添付のクラス一斉配信により園やクラスの様子を伝え欠席児と保護者に安心を与えることはできていると思うが、本児の体調などをもっと把握すべきではないかと自己分析していると思われる。

## VI 地域の自然や社会とのかかわり



自然を生かした活動や地域社会とのかかわりについて、地域における児童福祉施設としての役割を理解し、その職員としての職務を果たそうとする態度がうかがえる。しかし日常業務に忙殺されて、設問8、9の卒園児についての交流、設問14の地域における支援センターを利用できない人への対応などに配慮できる、余裕ある業務運営が必要だと思う。

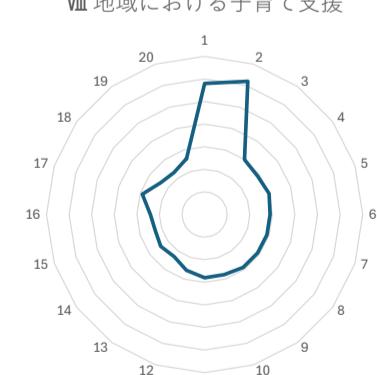
## VII 保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度



当園では外部での研修会や会議に出席した場合、簡潔に研修報告書を作成し職員間で閲覧内容を共有している。基本的に研修・学習意欲は高いと感じられ、設問13、14に回答があったようにさらに学びの機会を得たいと思っていることがうかがえる。

研修の内容を職員会議で報告し合うなどの機会を設け、さらに研修意欲を高めてほしい。

## VIII 地域における子育て支援



VIIIの設問群についてはこども園職員は任意回答、支援センター職員を中心としたため、グラフエリアは小さい。設問18、地域の子育て支援ニーズの把握などが課題と思われる。

## 自己評価シート集計の総評

昨今こども園と保育教諭に求められている要素や資質・専門性は年々変化して深化・高度化または多岐にわたっている。これらをできる限り設問にあげ、職員共通理解の下で自己評価していただいた結果、とても率直に自身を客観的に多角的な評価を得ることができたと思う。「よくできている」とは回答することができなくてもそこに自身の課題を把握できている表れであるとも理解でき、今後これらの課題と向き合ったそれぞれの業務改善となり、資質の向上につながることを期待したい。

設問群VI、VIIIの地域とのかかわり方については各職員で対応できることよりもむしろ、園としての対応によることが大きく、それによって職員の回答もより肯定的なものになると思われる。

これらの設問と回答を踏まえ職員と園が結果を共有して話し合い、さらに職員個人の課題と当園の業務課題を摸索し、解決に向けて改善努力していきたい。